

平成26年度

全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします

過去最高！

小・中学校とともに、大きく学力向上！

平成26年4月22日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。

〔調査内容〕

- 小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒が対象
- 教科に関する調査は、国語、算数・数学の2教科
- 国語、算数・数学に関する調査は、「知識」に関する問題A、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など)に関する問題Bを出題
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- 差が5%未満の場合は「やや高い(低い)」、差が5%以上10%未満の場合は「高い(低い)」

この調査は、教科に関する調査と質問紙調査とで構成さ

小学校6年生	平均正答率 (%)			
	国語A	国語B	算数A	算数B
大山町	77.6	58.7	80.2	59.1
鳥取県	77.0	56.5	78.6	58.1
全国	72.9	55.5	78.1	58.2
全国との差	4.7	3.2	2.1	0.9

中学校3年生	平均正答率 (%)			
	国語A	国語B	数学A	数学B
大山町	84.4	56.9	70.8	64.3
鳥取県	79.5	51.2	67.4	59.7
全国	79.4	51.0	67.4	59.8
全国との差	5.0	5.9	3.4	4.5

力の全てを見ることのできるものではありませんが、町内の各学校では、この結果を一つの手がかりとして分析し、成果と課題を明らかにして、今後の教育活動に生かしていくとしていいます。

また、大山町教育委員会では、学校の取組の進捗状況を把握しつつ、教科に関する調

査と質問紙調査を総合的に分析し、検討を行いながら、より質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

〔活用する力、中学校で大きな伸び〕

○小学校6年生について、大山町の平均正答率は、国語A・B、算数A・Bともに、県よりややや高くなっています。

○中学校3年生について、大山町の平均正答率は、国語A、数学A・Bが県よりやや高く、国語Bが高くなっています。

また、国と比較すると数学A・Bはやや高く、国語A・Bが高くなっており、非常に良好な結果となっています。

○中学校3年生では、国語B、数学Bの平均正答率において、全国との差が大きく、活用する力に大きな成果が出ています。

また、小学校6年生においても、全実施教科で正答率が大きく向上しており、特に、

課題であった問題Bについて改善が見られます。

〔小・中連携を通して、授業改革を〕

大山町では、小・中学校の連携を進めながら、各学校の授業改革に力を入れていっています。

県の指定事業である「小・中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業」(名和小・名和中)や町独自の学力向上事業である「大山町小・中連携学力向上推進事業」(大山小・中山小・大山中、中山小・中山中)に取り組み、9年間を見通した児童・生徒の育ちと学びについて共通した取組を進めています。

特に、授業の初めに「学習のめあて」を児童・生徒に示したり、めあてを達成するために、授業の中で自分たちの考えを伝え合ったりすることにより、学習内容の定着をめざしています。

表1からもわかるように、大山町は全ての質問事項について、国や県の肯定的回答率を上回っています。このことから、学習のめあてに対して、児童・生徒が意欲的に取り組んでいることが分かります。

(表1)

質問事項	肯定的な回答割合			
	全国	鳥取県	大山町	全国との差
小学校6年生				
5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	83.7	86.4	88.1	4.4
5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	84.9	88.7	93.0	8.1
5年生までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	82.0	87.6	91.6	9.6
中学校3年生				
1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	81.1	85.6	91.6	10.5
1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	75.3	83.7	88.9	13.6
1・2年生のときに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	71.5	84.4	94.1	22.6